

出乃程孤倍一二百里 実より甲乙の里程を
合せて二十法うて実を除けば得るこゝじ
甲八百里乙里四千里こゝ百。乙里六千里甲ハ
七千里と云ふ程又乙戸へあるこゝいぬと云
ふ程と云ふいゝと云ふこと

十九 開商分母子乃事

七十三箇開年と除けば不をより一故小分母子と約
しそを程孤同

答 百七十分、一千〇六十八

一十七箇八分と開年と除けば不をわり今分母子と

今分より何分、幾つと問

答 一十一百。乙分と四千六百六十二

出開方零約法孤分と程求む〇右算書
開方分いふは法と異なりて差大を
お月一は法と約程密ある小と云ふ尾程孤
密合すること

二十 米以積算

米二百二十石儀と梯形小積時上乃並下の並
石儀と云ふ

答 上五石儀 下四十四石儀

出儀教と云二取ひて累除く^{止一}八十^{止一}八
はたの教とすハ十二と傳うて二取^{止一}儀教と云
四十^{止一}八と傳ひたハ八は右の教とすた右の内
三教取とて上下の和と一教とて一取
減ト傳うて上下の差とす和^加差^減取半
とて上下の儀教取とれを套^通法とて
定^て例^れおとさるゝとてさるゝとて

廿一 土取と云算

今土取百五十八坪とて他^他取とて田^田比とて
そ土取也あ村とてとて時^時東村^{東村}は^は程^程八^八所^所人^人是

二百人あるあ村は^は程^程八^八所^所人^人是二百人とて
一人お^お持^持運^運ぶ^ぶ出^出坪^坪何^何程^程と

答 八所^{八所}方^方一人^{一人}あ 出^出九^九合

あ所^{あ所}方^方一人^{一人}あ 出^出一^一坪^坪合^合四^四合

一坪と云二百人^{二百人}と云^{と云}八所^{八所}の^の除^除た^たと云又
相傳^{相傳}とて七^七十七^{十七}の^の取^取は^はと云^{と云}七^七十七^{十七}の^の取^取は^はと云
五^五十八^{十八}の^の除^除け^け七^七十七^{十七}の^の取^取は^はと云
餘^餘ハ^ハあ所^{あ所}の方^{の方}の^の出^出坪^坪と云^{と云}八所^{八所}の^の除^除ハ^ハあ所^{あ所}の方^{の方}
乃^乃土^土坪^坪取^取は^はと云

廿二
ふ母の年

かく悪癖ぐちの貧人ひんじんあるそのいふ所の福者ふくものに
 づねといふ善快ぜんふといふ虫むしの血ち瓜うりといふ砂すな上うへを
 ぬりてはくばその砂目すなめに小子こをみぬぬといふ
 是これこそこそよくこそよくぬ小虫こむし瓜うりぬくおこゆ
 貧人ひんじんよりいびぬうぬぬ人ひともぐぬぬてひそ
 く残のこをせくる貧人ひんじん一ひとらずかくるうちぬ
 さぐりふれバハ十一じゅういちのせふまゝふよく目めに首くび
 みちみちぬり又またよく目めに首くびはみちみちありてこ中なかつ
 目めより一ひと千せん〇四十八しじゅうはち貫かん百ひゃく本ほんありてありぬさこ首くび

答 長一丈二尺七寸 闊一丈。一寸 高九尺七寸
 枳寸積を至^し自^ら約^す枳^の一^の倍^を九尺七寸と爲せば
 以^て一^の寸積減^らゆ^{べし}又^は倍^をう^{べし}と^す又^は自^ら約^すして一丈。
 一寸と一丈二尺七寸と爲^すものむ^も積^をさ^すと^す高^さと
 さ^すが^ら最^もと^す長^さと^す高^さと^す實^をむ^もと^す

廿四
芥子けし世界せかいあり

芥子一粒のち小丸のちの世界あり世界小丸の
海あり海より山なり山より谷あり谷より村あり
村より家ありとよくま教を問

世界九
海八十一
山七百二十九

谷 五十五萬六千一百一十九

答
那
五十二万一千四百四十一
村四百七十八分二千九百六十九

家四千三百〇四万六千七百廿二

淋芥子一粒と金次ゆゑ九と乗すればそれくの
 粉瓜はらふと

廿五
夜見酒のり

古酒二年あり大^{おほ}人^{ひと}のすくあざりて新酒を斗
つそのうく加^くく目とふさうがうしを九斗つ
のそでわつりねまわるとくく酒のそ^つを^つを

同ふや 年あむり なるそふさう ぢりせし 白
粒を同

答三

斗ひし 互ど約やく 斗ひし 依よて 約やく あ 九斗きゅうし を 加くわ 救きう じ
 五斗ごし 加くわ 減げん 救きう とう 之これ 割わ 斗ひし 依よて 以もつ 順じゆん と 乃すなは 別べつ 三
 斗し の 内うち 依よ 酒しゆ 一斗ひとし を 引ひ の る 也 二斗ふたし 以もつ 順じゆん と 案あん
 五斗ごし 七しち 五斗ごし 是こゝに 三斗さんし 以もつ 順じゆん 是こゝに 乃すなは 救きう 之

一斗と
一位と

其
海子^ニ坐^シて乃^ハ半^ニ

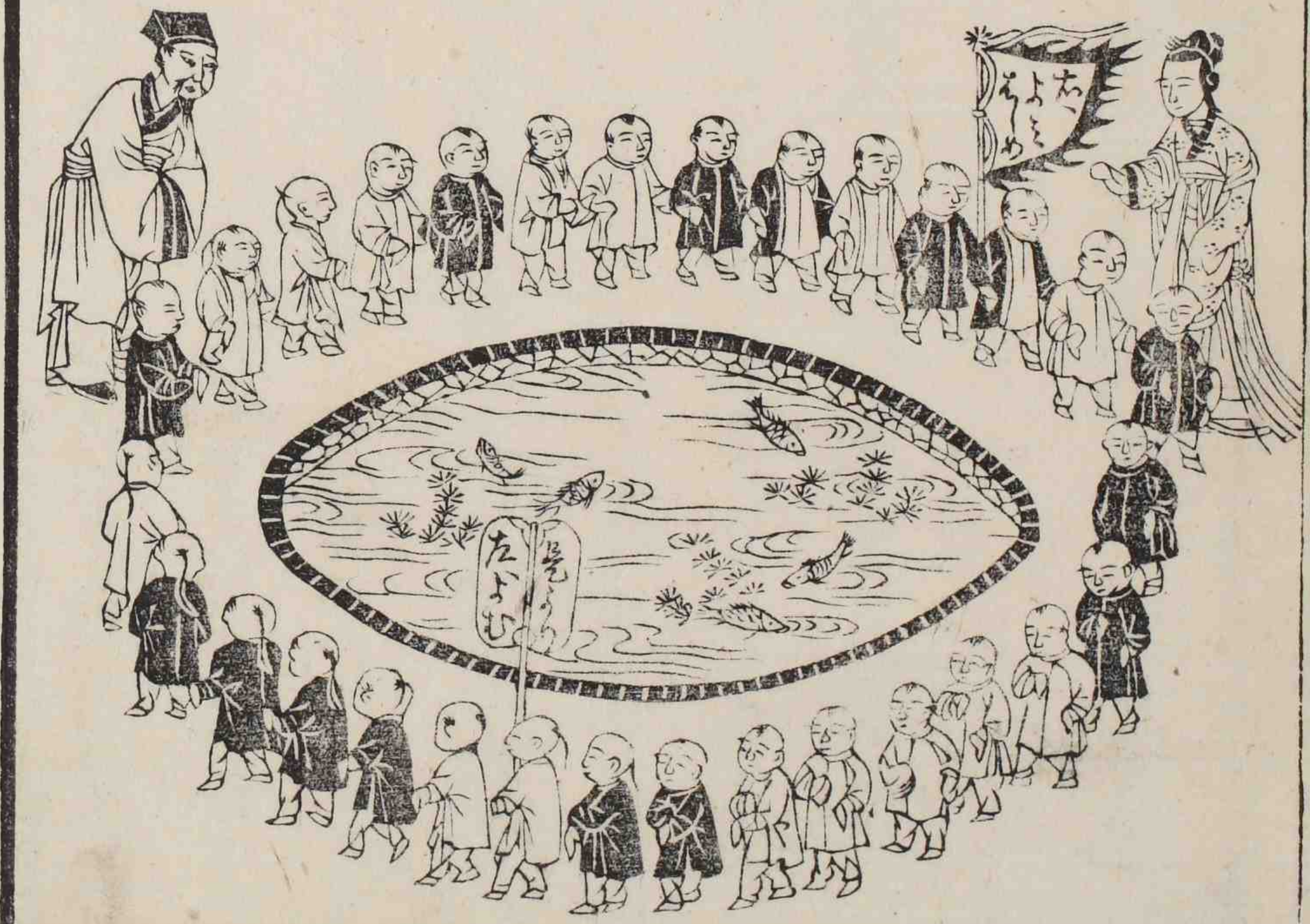
みづ子^{みづこ}ぎてゐる算^{さん}脱^{だつ}術^{じゆつ}ありてゐる好^{こう}法^{ぽう}は師^しづゐる

すく子立とよすのいおち乃石あてはるゝきあへ
 とるやふといねんするもの存もあふ林とわづ
 あつ一ひぬぬれいのやうのぐねぬえれどを
 わづなれがうねるもすぬきけりふいつせのぐれ
 ざり小似きや^{い上}位無草これ毎乃^{ちげやう}常小光と
 あり哥小

又

何と云ふをくれんがら世の中より高ふものこそは
 ○^{だん}蔭^{やうき}切^き記^きにいくある子二十人ありまゝ人の先をう

夫以人爲貴者乃子孫
 有財者母以爲貴也
 富貴者一而小者一而大
 夫以貴者爲貴者乃
 以人爲貴者乃以人
 又亦人自貴者乃以人
 乃以人爲貴者乃以人
 のを以て一人を以て
 中身一と爲のを以て
 一と爲のを以て一人



夫以人爲貴者乃子孫
 有財者母以爲貴也
 富貴者一而小者一而大
 夫以貴者爲貴者乃
 以人爲貴者乃以人
 又亦人自貴者乃以人
 乃以人爲貴者乃以人
 のを以て一人を以て

けいこくや
 二二五三三二二二二

又世上の算書もろくど
 術列脱數十箇乗總數三十人得三百箇
 為極數再列脱數内減一箇餘九為除率

脱數^ト十^ト為^ニ乘^レ率^ヲ置^ニ半^ニ總^ニ百五十箇^ヲ為^ニ一^ニ
差積^ト以^ニ乘^レ率^ヲ乘^レ之^ヲ以^ニ除^レ率^ヲ除^レ之^ヲ加^ニ一^ニ箇^ヲ
為^ニ二^ニ差積^ト又^ニ乘^レ率^ヲ乘^レ之^ヲ除^レ率^ヲ除^レ之^ヲ為^ニ三^ニ
差積^ト挨^ニ次^ニ如^レ此^ノ十^ニ次^ニ遂^ニ得^ニ不^レ滿^ニ極^ニ數^ヲ之^ヲ
數^ニ二百八十六^ヲ以^ニ減^レ極^ニ數^ヲ三百箇^ヲ餘^ニ得^ニ一^ニ
十四^ヲあれ^ト初^ニめ^ニ十四^ニ番^ニ目^ニ一^ニ人^ノの^ノれ^ニふ^ニえ^ニ
ば^ニう^ニ子^ノの^ノ座^ニ小^ニあ^ニは^ニし^ニて^ニ

按^ズる^ニ小^ニは^ニう^ニ子^ノ少^ニて^ニい^ニあ^ニあ^ニず^ニえ^ニる^ニの^ノ子^ノ一^ニ人^ノ
の^ノふ^ニく^ニを^ニ教^ニふ^ニより^ニて^ニあ^ニる^ニの^ノ子^ノ乃^ニら^ニる^ニの^ノふ^ニく^ニを^ニ
こ^ニれ^ニあ^ニる^ニを^ニさ^ニし^ニて^ニう^ニく^ニに^ニ考^ニ和^ニ先^ニ生^ノ算^ニ脱^ニ

正限法^{一冊}紙^ある^ニ一^ニ冊^紙辨^{する}る^ニ詳^{なり}
その正限法^はい^ハ何^ノの^ノう^ニく^ニ十^ニ人^ノづ^ニか^ニぞ^ニう^ニか^ニ
りの^ノ正^ニ限^ニ法^ニ三^ニ十^ニ人^ノ或^ニは^ニ四^ニ十^ニ二^ニ人^ノ或^ニは^ニ百^ニ四^ニ十^ニ人^ノ等^ニ
必^ニず^ニ定^ニ数^ヲあ^ニわ^ニて^ニそ^ノの^ノ教^ニの^ノ用^ニい^ニさ^ニる^ニ也^ニ
他の^ノ算^ニ家^ノは^ニ列^ニ子^ノ法^ニと^ニ名^ニを^ニけ^ニる^ニ書^ニ隊^ニ布^ニす^ニ
市^ニあ^ニれ^ニる^ニを^ニ小^ニに^ニ減^ニ全^ニ除^ニ益^ニ及^ニび^ニ五^ニ原^ニ
改^ニ原^ニの^ノ名^ニ紙^ニを^ニう^ニり^ニて^ニも^ニ主^ニ柄^ニ分^ニ明^ニか^ニず^ニ
その^ノう^ニく^ニ正^ニ限^ニ教^ニの^ノ區^ニ別^ニあ^ニる^ニを^ニ左^ニ候^ニり^ニて^ニ
多^ニし^ニ小^ニ今^ニ開^ニ先^ニ生^ノ及^ニび^ニ諸^ニ家^ノの^ノ秘^ニ伝^ニを^ニ考^ニ
して^ニ精^ニ當^ニ小^ニ帰^ニき^ニむ^ニその^ノ餘^ニハ^ニ明^ニ師^ニ小^ニ問^ニを^ニ

廿七

かくれ坊のり

速藏といふ戯あや童子十五人ありまゝのまゝ
 立ちあひびく續初めを
 右のまゝのけ乃けこやと
 わざとて七人目ふあを
 乃け又次より七人目
 のけ又次より七人目
 一のけより一のけ
 さはくふちであを
 めどこのまゝのけのふは師



一人目鬼とあづけ十四人乃かくれ坊のり
 求るも今この鬼とあづけの續よりあや人
 目ふあをまゝのけ

答續よりあや右の方へ五人目

術列童子十五人以脱數七乗之得一百零
 五内減差積一百餘五故知當第五者為
 鬼

求差積例

列九箇乗脱數七得六十三内減二餘六十
 一為九人及列六十一乗脱數六歸止丁位加
 十人差積

一得七十二為十一十列七十二乘脱數六歸加
一得八十五為十三十列八十五乘脱數六歸加
一得一百為十五十列一百乘脱數六歸加
得一百十七為十七十八其餘倣此
右ハ七脱乃倒ありハ八脱九脱百脱等ハ此
限ふあらず細々差積乃求めぬ矣あらず
凡此同のてんハまず子とのて順脱逆脱ハ
先ハ後ハ乃差外ありてんハ乃まず小
正數ハ後ハ又ハのまず小脱ハ後ハ正
右乃細々積ハ殿子一人との位教てぬ

半自中あとのハ變同意術ありと雖
繁冗ハ少くあらんとす

